慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1962
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.55, No.2 (1962. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19620201-0117

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

昭和三一、二、四、五年の所謂神武・岩戸の両景気は耐久消費財中心であってもなおレジャー迄は及ばなかったのであるが、三六年にいたって遂にレジャー時代へ入ったのである。レジャーの中心をなすものはスポーツと観光であるが、その間の事情を見るため東京証券取引市場における関連会社の値動きをみてみよう。三六年後半よりの景気調整のため年初に比べて原稿締切の十二月九日迄でダウ平均は四分三厘の値下りである。一方年初に比して(増資のあったものはこれを逆算して)、スポーツ関係会社では、後楽園、四割七分値上り、東京都競馬、四割一分値上り、関東レース、一割三分値下り。観光に準ずる会社では、雅叙園、一四割六分値上り、関西汽船、四割八分値上り。観光会社では、富士観光、四八割値上り、東海観光、一八割三分値上り、国際観光、四割二分値上り、東洋観光、三割五分値上り、となっている。このうち関東レースのみ値下りしているが、これは、業績は極めて順調ながら株式市場はじまって以来の、増資額の四割という大量公募をつけた変態増資の圧迫のためで、特殊な例外である。他の普通の会社は富士観光の六倍弱、東海観光の三倍弱の値上りをはじめすべて大幅な騰貴で一般の暴落などどこ吹く風である。しかしレジャー時代はようやく第一歩をふみだしたにすぎない。景気調整期にも消費支出ののびはいささかも衰えない。昭和三七年は空前のレジャー景気を現出するものと思われる。

追記　その後関東レースも急騰、年間ではダウ五分一厘の値上りに対して三割三厘の値上りとなったのである。

（佐　藤）

昭和三十七年二月一日　発行

© 三田学会雑誌　第五十五巻 第二号

定価　九〇円（送料二円）

編集兼発行人　東京都港区芝三田二丁目二番地　慶應義塾経済学会　代表者　山本　登

電話三田（451）五一八一　振替口座番号　東京四四〇五六

印刷者　東京都港区芝三田豊岡町八番地　図書印刷株式会社　安倍七郎

半ヵ年予約購読料（送料共）　五四〇円
一ヵ年　〃　〃　一〇八〇円
御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発売所　東京都高輪局区内三田綱町一番地　慶應通信　振替口座番号　東京一五五四九七